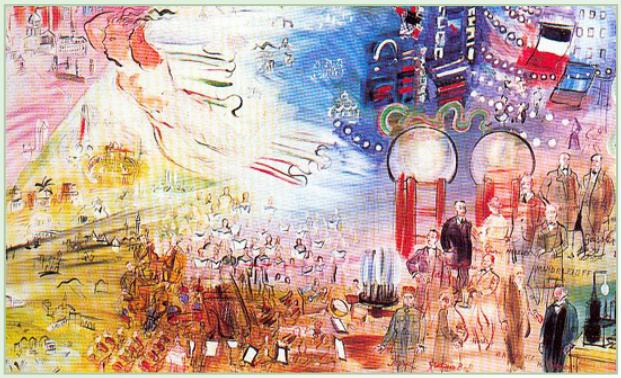
日本学術振興会・平成 27 年度外国人研究者招へい事業（短期）主催

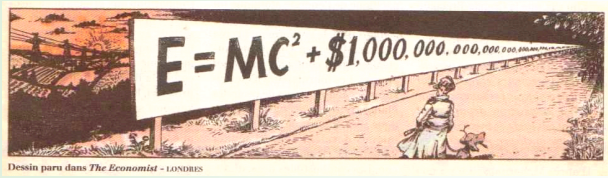
ジャン＝マルク・レヴィ＝ルブロン名誉教授講演会

「現代科学技術（テクノサイエンス）のパラドックス」

"The paradoxes of contemporary technoscience"

2015 年 5 月 7 日（木）14:40-16:10　A2-101 教室





Dessin paru dans *The Economist* - LONDRES

現代の科学技術は様々なパラドックスに直面している。科学と技術の未来はどこにあるのか？　高名な物理学者が科学技術と文化、経済、社会との関係に挑む。　＊発表は英語。但し日本語原稿と通訳あり。

ジャン＝マルク・レヴィ＝ルブロン（Jean-Marc Lévy-Leblond, 1940-）

ニース大学名誉教授。フランスを代表する物理学者にして、科学哲学上の業績も多くもつ。

主要業績："Galilei Group and Nonrelativistic Quantum Mechanics" (1963)

"Did the Big Bang Begin?" (1990)　［以上物理学］

Mettre la science en culture〔科学を文化の中に置き入れる〕, 1986.

La science (n')e(s)t (pas) l'art〔科学と（は）芸術（ではない）〕, 2010.［以上哲学］

問い合わせ先：中村大介（総合教育院講師）　Mail: nakamura@las.tut.ac.jp

※学生、教員を含め、どなたでもご参加いただけます。予約は不要です。